

東京学芸大学附属小金井中学校
同窓生の皆様へ

常任幹事ご就任のお願い

東京学芸大学附属小金井中学校同窓会
常務理事（母校連絡・組織担当）
第23期常任幹事

石井 健介

昨年は新型コロナウイルスに翻弄され、今も皆様それぞれのお立場で対応に尽力されていらっしゃるかと存じます。母校のこの1年も、これまでにない過酷な状況の中で、今できることを懸命に模索する期間であったことは、お手元に届いた「同窓会会報なでしこ第8号」の「坂口謙一校長先生に聞く」（2～3頁）や「母校情報」（8頁）でご覧になったとおりです。

さて、巻頭言で小川忠夫同窓会常任幹事会議長がお書きになっているように、「同窓会と同期会を結ぶ接点ともなるべき常任幹事」に「空白」のある期が50期あたりから特に目立っているというのが、現在の同窓会組織の現状であり、何とか解決したい課題です。母校連絡・組織担当の常務理事として、また平成28年度まで母校に在職していた立場の者として、小川議長の呼びかけに重ねる形で、同趣旨のお願いをさせていただく機会を頂戴いたしました。本文書をお読みいただき「それならやってみようか」とお考えになる方がいらっしゃいましたら、ぜひ同窓会ホームページを通じてお申し出下さいますようお願い申し上げます。

まず、常任幹事にやっていただきたい仕事は、主に次の2つです。

① 年に一度（6月ごろ）の常任幹事会に出席して議事に賛否を投じる。

出席できない場合は委任状送付による賛否でも結構です。

常任幹事会の議題は、年度ごとの決算と次年度予算の審議、事業報告と次年度の事業計画などです。同窓会全体の活動状況や、各期の同期会の様子、母校やお世話になった先生方についての情報なども得ることができます。

② 同窓会イベントなどを同期に横展開する。

懇親会等のイベントの案内を同期の方々に、可能な範囲で結構ですので、メール等で通知する。

常任幹事会の後には例年、懇親会（簡単なパーティー。すべての同窓生が参加できます。）が行われます。また、今年度は「母校見学会」も企画されていましたが、残念ながらコロナで中止となりました。そのような情報を可能な範囲で同期の方々に伝えてください。それ以外にも様々な企画や催しが計画されるので、「同窓会のホームページを見て」だけでもよいので伝えてもらえると助かります。あまり頻繁にあることではありませんが、今回の会報にあるように関係のあった恩師の慶弔に関わる情報を伝えていただくこともあります。

なお、先述のように、常任幹事が欠けている期が残念ながら50期あたりから目立っているのですが、これは当該期の卒業生の皆さんが同窓会活動に非協力的であるわけでは決してなく、次のような要因が関わっていると考えます。

1. 平成15年に「個人情報の保護に関する法律」が成立しました。成立前から、個人情報の取り扱いについて各方面で大きな議論が起り、学校の対応も大きく変わりました。これまで全校に配布していた「名簿（住所録）」を廃止したり、卒業アルバムに氏名のみを掲載したり、外部公開授業で座席表を廃し写真撮影を禁止したりするようになりました。そのような一連の流れの中で、同窓会との情報の受け渡しに混乱が生じ、学校から氏名や住所等の情報がきちんと伝わらない状況が、かなりの期間続いてしまいました。そのことが常任幹事の選出や会報の配布にも大きく影響を与えています。現在は、個人情報をきちんと保護するお約束として文書を取り交わし、住所等の情報を提供していただいています。

（裏へ続く）

2. 40期ごろまでは、卒業アルバムを学校で手渡ししており、毎年5月第2日曜日（母の日）に中学校の体育館でセレモニーが行われていました。この催しが「同窓会への入会」を祝う意味も兼ねていて、会長はじめ多くの来賓が参加していました。しかし、卒業アルバムが郵送となったため、この催しが廃止となりました。同窓会の先輩諸氏のお話を直接うかがう機会がなくなってしまうことで、同窓会の役割や活動内容、常任幹事の重要性が伝わりにくくなってしまいました。現在、会報やホームページを通じて同窓会活動を広く知っていただくよう努力していることは周知のとおりです。

ここに述べた二つの「要因」は、あくまで私の私見であり、考えの及んでいないところもあろうかと思えます。その点は何卒ご容赦ください。

同窓会は、決して単なる親睦団体ではなく、会員相互の有益な情報交換や助け合いの場であり、あわせて母校の発展に積極的に寄与する重要な組織です。そのような目的や理念は、会報「なでしこ」や同窓会のホームページをご覧いただければ、十分に理解していただけることと思えます。

長引くコロナ禍で全国の小中高等学校や大学が苦しんでいる中、母校附属小金井中学校も暗中模索の日々を送っています。3月11日に卒業式を迎えた第72期生140名は、多くの先輩方が最終学年の思い出として大切にしている関西方面修学旅行にも行けず、体育行事（スポーツフェスティバル）と文化行事（学芸発表会）は大幅に規模を縮小され、部活動はほとんど参加できず、最後の行事である合唱祭も断念せざるを得ませんでした。

彼らは、先輩の皆さんがどのような中学校生活を送ったのか、現在どのようなお立場で世の中と関わり、生きがいを見いだしているのかを、自分たちもやがて社会に出て行く存在として、知りたいと願っています。各期の常任幹事は、そのような後輩たちへ希望の手を差し伸べる架け橋にもなる存在と考えます。どうか本文書の趣旨をお汲みとりの上、積極的なお申し出、お問い合わせをお願い申し上げます。

末筆ながら同窓生の皆様方のますますのご健勝、ご多幸をお祈りいたします。

<<常任幹事就任のお申し出>>

同窓会ホームページ (<https://fuzokukoganeichu.com/>) より

右上の「お問い合わせ」をクリックし

「常任幹事就任に関して」にチェックを入れ

「詳細内容」に適宜記述し

「登録」を押下してください。

<<同窓会へのお問い合わせ>>

同様に同窓会ホームページの「お問い合わせ」よりご連絡ください。